

令和元年第2回都城市議会定例会付議請願件名表

番 号	件 名	頁
請願1第1号	甲斐元通線(新歌舞伎橋より西へ県立都城工業高校及び平塚ICに通じる路線の未整備区間)の早期整備促進に関する請願書	1



請 願 書

甲斐元通線（新歌舞伎橋より西へ県立都城工業高校及び平塚ICに通じる路線の未整備区間）の早期整備促進に関する請願書

紹介議員 徳留八郎 ■

1 請願の要旨

甲斐元通線（歌舞伎橋より西へ県立都城工業高校及び平塚ICに通じる路線の未整備区間）の早期整備促進について

2 請願の理由

1. 上記区間においては車道と民家の間隔が狭く、近隣施設の変化を過大に受けたために生ずる交通量の増大により子供の通学、または車両通行上も大変危険な状態であり、現に事故も多発している。
1. 都城市南部地域の国道10号線から甲斐元通線（歌舞伎橋経由）を西へ県立都城工業高校及び平塚ICに通じ、市内幹線道路に係る重要でかつ交通量の増大が見込まれ、平塚ICの活用促進に繋がり、交通渋滞の緩和に絶大なる効果があると考えられる
1. 市南西部の災害時（火災、地震等）緊急道としての重要な役割を果たす。
1. 沿線には川の駅公園、城山公園（歴史資料館）、新五十市地区公民館、東には姫城中、南小、イオン早鈴及び新しい商業大型施設等を通り、市民に幅広く活用される事が明らかである。

市民の切なる願いである交通渋滞の解消と安全対策の重要性を鑑み、甲斐元通線（歌舞伎橋より西へ県立都城工業高校及び平塚ICに通じる路線の未整備区間）の早期着工を強く要望する。

以上のとおり地方自治法第124条により請願書を提出します。

令和元年 6 月 7 日

（ 請願者 住所
代表 氏名

都城市議会議長

榎木 智幸

様

他 579名 署名

請 願 理 由 説 明

現在、都城市街地から都城志布志道路の平塚ICへのアクセスの増加及び、周辺の商業施設及び文教施設や公共施設の変化を過大に受けております。周辺地域は学校が小中高3校もあるため、交通量の増大にかかわるラッシュを避けるためのスクールゾーンを使つての通り抜け等通学生や近隣住人は大変危険な状況にあります

早朝、民生委員及びボランティアの交通指導等の事故予防措置等していますが、いつ重大な事故が起こるかかわからない状況である。近年、通り抜けの車が通学児童の列に飛び込み最悪の事故になるという事例も多々ある状況でいつこのような事故に見舞われるか心配するところである。休日においても商業施設に向かう為ラッシュとなり、やはり通り抜け等で使用する車は後を絶たず、その為周辺地域の近年の交通事故の件数増加は著しい。

2015年からの歌舞伎橋から都城志布志道路の平塚ICへ繋がる現状の甲斐元通線は交通事故の件数は増大の一途を辿っている。(宮崎県警交通時マップ参照)

鷹尾上長飯通線と甲斐元通線の交差点においては、朝夕のラッシュ時や休日の終日、通行量が多いために一度で信号を曲がれない状況が続き、注視していると信号が変わる寸前で交差点に突っ込んでくる車も見かけられる。残念なことに2016年は交差点近くの県道2号線で夕方雨の日死亡事故も発生しています。

この甲斐元通線は、都城市街地南部地区の東西に渡る主幹線道路であり、国道10号線の交通渋滞防止の大事な役目を果たすべく道路でもある。

近隣住民及び通学生の安全確保や交通渋滞の緩和のため、市道甲斐元通線のさらなる充実を図るためには残る、甲斐元通線(歌舞伎橋より西へ県立都城工業高校及び平塚ICに通じる路線の未整備区間)の早期完成が必要である。

